

平成 26 年度第 3 回有線テレビ放送番組審議会 議事録

用語：委員の発言は「○」、指定管理者の発言は「●」、下呂市の発言は「※」と表記。

番組審議会委員の出席者は 8 名（2 名欠席）。過半数につき成立します。

■議 事

(1) 第 2 回番組審議会質疑応答（報告）

事務局より説明。（資料 P 2～P 3）

以下、協議内容。

- G-BABY のコーナーで誰の子供か分からない、との質問について回答が無いが。
- 前回の会議時に回答したが、親の名前を入れることによって応募が少なくなる心配があったから。実は、過去に応募した方々にリサーチしたところ約 6 割の方が、親の名前が出るなら載せないで欲しいと回答された。
- 家の家族に応募したらと話したところ、写真は出てもいいが名前が出るのは遠慮したいと話していた。

(2) データ放送について

CCNより説明。（資料 P 4）

以下、協議内容。

- 緊急情報について、載せてほしい情報が有った場合の連絡先はあるのか。先週、国道 41 号線が事故で通行止めになったが、こうした情報がリアルタイムで入らないのか。
- 緊急情報については、岐阜県の防災サイトから情報を得ている。その中には、交通事故等の障害情報は載っていない。
- ネットワークを組んでいないということか。
- はい。それを掲載するには、手動で掲載する必要がある。今は、すべて自動の連携になっている。
- 金山振興事務所で手入力により掲載するということか。
- 我々が手入力する訳ではないが、手入力をすれば掲載できる。
- 先日の事故は、平日の通勤時間帯での事故による通行止めで、迂回路も無く非常に困った。通ってみて初めて解った方も多かったようだが、私は民放放送で事故情報を知ったので、同様にリアルタイムで情報を入手出来ればと良いと思った。
- 加入者の年代別のデータはあるか。

- 我々のところには無い。
- 年代別までは無い。
- 何故聞いたかという、20インチ以下のテレビだと、データ放送の文字は高齢者にはちょっと見えづらい。
- 文字の大きさは、他局と比べても「チャンネル下呂」のほうが大きい。現状では、最大の文字を使用している。
- ※ 交通事故の件について、市としても災害情報や交通情報は流すようにしているが、今回の場合、国土交通省からの第一報がかなり遅く、事故処理の時間も把握できない状況でもあり、即時伝えるとしたら広報無線くらいである。先日の高山であった倒木処理のように事前に解っている事ならデータ放送等で流せるのだが、情報をどのように伝えるかは時と場合による。特にデータ放送については、さまざまところからデータを頂いて情報を提供しているため、情報が乏しい交通情報を瞬時に伝えるのは現実的に難しい。
- ※ 事故処理をしながら、少しづつ車を通してのような状況であり、リアルタイムに正確な情報を伝えることが難しいケースであった。
- 色々なメニューがあり活用されれば非常に便利だと思う。それとバスの時刻表があるならJRの時刻表もあったら良いのではないかな。
- おくやみ情報は大変活用されているようで好評な話を聴く。
- おくやみ情報は、掲載を拒否しなければすべて載るのか。例えば寺院での葬儀など。
- ※ 市内の葬儀屋が情報を提供しているので、地域の公民館や寺院での葬儀に葬儀屋が関わっていれば掲載される。
- おくやみ情報は早く掲載されるのでありがたい。この情報が欲しいために加入したいと言う人もいる。
- おくやみ情報は出来るだけ早く流して欲しい。
- おくやみ情報を新聞でしか得れなかった地域の方には有難い情報だと思うが、加入率の問題があり加入していないところは情報を得れない。
- 地域回覧板は、どういった内容を掲載するのか。
- ※ 地域で開催するイベントや活動を掲載。ただ、一部の区民に対する情報は載せないが、幅広く周知したい情報は掲載する。また、サークル活動や団体活動の会員募集も、広い範囲を対象としていれば可能。
- 窓口はどこか。
- ※ 各振興事務所をお願いしてある。依頼のあった情報は、防災情報課で掲載している。
- それに関連して、地域行事があるかどうか振興事務所が把握していて、掲載を案内したりPRしないと浸透しないので、有効に活用するには、事業を進めるところと情報を収集するところが一丸とならんと中々難しいのでは。知らない人は多いと思う。

- ※ 広報紙などを活用し周知を図りたい。
- 下呂市以外の人に参加する行事を掲載しても良いのか。
- ※ 問題ない。なお、掲載地域は「全ての地域」以外に、各地域を選択できる。

- ※ テレビのDボタンを操作してみたの感想はどうか。
- 高齢の家族が利用したが、Dボタンは押してもデータ放送の文字が見えなかったようだ。
- Dボタンが大きいと分かりやすい。

- 河川情報の「はなもも」について、朝日があたると河川が見えない。良い情報なので、場所などの制約があると思うが出来れば改善してほしい。

(3) 平成 26 年度事業報告・平成 27 年度の取組みについて

CCNより説明。(資料P5～P11)

以下、協議内容。

- 高齢者向けの番組について、各地に大きなシニアクラブがあり活動もしている。こうした活動を見る機会も無いと思うので、随時取り入れて頂くと良いと思う。タイムリーな話題など、是非お願いしたい。
- チャンネル下呂のテレビ回覧板で、ナレーションを入れていないのは特別な理由があるのか。
- 以前も要望はあったが、番組時間の調整のため放送していることもあり、番組の途中で切ってしまう。また、頻繁に内容を変更しているので、急な対応が出来ない事などがあり、残念ながらナレーションまで出来ていない現状である。
- 見ていると、日付など重要な情報があり、読み上げる事で高齢者にも解りやすくなると思う。
- 現在、CCN本社では「音声文字放送」と言うテレビ回覧板のような放送をコンピュータで読み上げるシステムが構築されている。これを、チャンネル下呂に取り入れるには費用も掛かるため、今後の課題になる。

- 「週刊まめなかな」で、食のコーナーが出来ないか。子供たちの中には朝食を食べなかったり、戦後直後の平均カロリーしか取らない過剰なダイエットで体調に支障をきたしている人がテレビで紹介されていた。偏った食生活の怖さを教えるような番組があったら良いと思う。

- 金山病院の先生が流しているメール（下呂市メール）があるが、良い内容なのでデー

タとして紹介できたら良いと思う。

- (新コーナー「祝100歳さん」に関連して) 下呂市で100歳になられる方は、年間何人見えるのか。
- 27年度でリサーチしたところ18名みえ、毎月居るという訳ではない。
- サイエンスチャンネルについて、他で制作された番組を放送していると思うが、映像が古いのでは。
- 科学技術振興財団(文部科学省関係)が作成している番組で、予算の関係で一時期新規の番組制作がストップしていたため。現在は、新たな番組が制作されているので、古い番組を利活用しながら最新の番組へ入れ替え作業をしている。頑張って週単位で更新し内容を充実させる予定で、子供から大人まで楽しめる内容になる。
- 色々な努力をされていると思うが、一日一回はチャンネル下呂に辿り着こうと皆が思うような仕掛けが無いかと考えている。お金を払ってまで加入したくないという方が多い中、加入者を増やすには、チャンネル下呂でしか出来ない何かがないと。どう打開できるかを考えないと。例えば、チャンネル下呂が役立ったという視聴者の意見を載せたりしては。加入率がどう改善されているのかをみて、未だに何割も残っていると言うことは大きな課題。戦略としてしっかり数字的に解消していく仕組みを作り、何年か掛けてやっていくべきかと思う。
身近な物として必要ならば、人に聞くよりも自分で観た方が良いと思うだろうし、他の民放放送と違って、もっと身近で独自の情報が提供されれば。
- チャンネル下呂を観てない人にどうアピールするかが課題。チャンネル下呂を視聴すると色々な情報があることを如何に訴えかけるか。
- 仮に小坂地域は加入率100%だが、地域のニュース取上げ数を見ると少ないのでもっと載せてほしいとの思いはある。加入率が低い地域の話題を取上げても、冷ややかに観ているだけかもしれない。万遍なくという事も必要だと思うが、地域の情報を欲しがっているところにケアしてあげる事も大事なかなと思う。
- ※ 何を指してやっていくべきかを考え、ある程度的を絞り、何のために取り組んでいくか考える必要がある。
- 一年毎に、加入率がどう増えているのか知りたい。我々が委員になって少しは役に立ったのかどうか。
- ※ 高齢者世帯の消滅もあって、思うように増えない現状もある。
- ※ それでも加入促進は必要である。
- 他の番組(民放他局)で、チャンネル下呂の特集を取上げたら面白いのでは。

- ※ 加入率を上げるための加入促進は大事なことで、努力をされていると思うがまだまだの所がある。市民全員が見る「広報げろ」の紙面を使って、番組審議会の意見も入れながら視聴者の意見も掲載し、加入促進に繋がるようなページを入れて欲しい。
- CCNとして、25年度から26年度とPR活動としてイベント等でブースを作って、「週刊まめなかな」を放送したりしながら広くアピールした。そこで、加入している人は、「いつも観てるよ」と声掛けいただいたが、加入していない人は、「入りたんだけどでもな…」との反応が多い。印象としては入りづらいハードルがあると感じた。(初期費用など)
- 初期費用が高いという意見を聞く。当初導入時のように費用が掛からない取組みはないか。
- ※ 年に数回、初期費用無料キャンペーンの取組みはしている。
- 昨年12月から2月までの3か月間、キャンペーンを実施したが、テレビ加入で28件程度あった。
- 地域話題を出さないとダメ。私自身が番組に出演させてもらったが反響が凄くあり、地域の特性を生かした番組を沢山取り入れれば加入者が増えるのではないかとの思いを強くした。
- 加入率が低い地域の保育園や小学校を取上げた際、加入していないから観れないけど観たいと思う人は多い。こうしたタイミングを加入促進に結び付けられればと思う。
- 街中は、ケーブル引かなくてもテレビが観えてしまう。本当は旅館にも引いていただき観光客に観て頂きたいが、アンテナ視聴が可能なので加入して頂けないのが最大の難問である。そんな中、観光協会として出来ることをCCNと協議し番組に協力することになった。補足説明すると、番組(満天ゆると下呂/下呂へGOの後継番組)の中で視聴者に宿泊券をプレゼントする。今まで、東海エリア7局で放送されていたが、豊橋が入ることで、かなりの広範囲で観て頂けるようになる。各ケーブルテレビ毎に1名ずつプレゼントし、収集したデータはケーブルテレビ毎に分けて貰い、応募数や、視聴者数のデータ収集を目的としている。また、お店で「番組をみたよ」と言う粗品を進呈することにしており、カエルのお守り2000個を用意し、1年間続け様子を見てみる。番組も下呂だけでなく、下呂市全体を紹介していく。
- 無理かもしれないが、広報無線で放送の最後に「詳しくはデータ放送を観てください」という言い方をすれば、加入促進にならないか。
- ※ 観て頂かなければ意味が無いし、これだけ投資しているので、あらゆる手を使って加入率を増やしていかなければ。今は下呂と萩原が低いけど、色々な条件はあるけど、それをクリアしてでも努力して多くの方に加入して頂くことを、色々な手を使ってやってほしい。

